

# INNERVISION

インナービジョン 医療と画像の総合情報誌 inNavi.NET <http://www.innervision.co.jp>

●特集

## 肺がんCT検診を巡る国内外の動向と現状 低線量CT検診の普及に向けて

2012  
JULY  
7

1. 米国大規模RCT：PLCOおよびNLSTの結果についての考察
2. 低線量肺がんCT検診の普及に向けて  
—放射線防護および影響の立場から
3. 低線量肺がんCT検診の普及に向けて  
—低線量スキャン技術の普及とそれに対する画像管理
4. 低線量肺がんCT検診の普及に向けて  
—被ばく線量管理システムの提案

●特別企画

## CT Colonography (CTC)による大腸がん診断 実施施設に見るCTCの実際(取材報告)

別冊付録

ヘルスケアIT活用情報誌

ITvision No.26



# 「第5回どこでもMYカルテ研究会」が開催

「第5回どこでもMYカルテ研究会」が2012年6月2日（土）に、東京海上日動ビル新館（東京都千代田区）において開催された。共催は、医療構想・千葉とNPO法人医療福祉ネットワーク千葉。この研究会は、「患者情報は患者のもの」という考えに基づきITを活用した情報共有・連携の仕組みについて意見交換することを目的に、千葉市の医師会、病院関係者らが結成した。

今回の研究会は「医療・介護・福祉を結ぶどこでもMyカルテ」と題して、地域連携で情報共有を進めていくための方策について、各地域からの事例が発表



演者全員による総合討論会

された。総合司会は、順天堂大学健康学科教授の田城孝雄氏と東京厚生年金病院内科部長の溝尾 朗氏。まず、どこでもMYカルテ研究会の増山 茂氏（東京医科大学渡航者医療センター）が挨拶を行った後、福岡県の姫野病院のクラウド事例（同院・姫野信吉氏）や桜新町アーバンクリニックの地域連携システムによる在宅医療での情報共有（同クリニック・片山智栄氏）、長野県須坂市の地域見守り支援システム〔メディカルアイ（株）・山口典枝氏〕、長崎県のあじさいネットワーク（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療情報学・松本武浩氏）の発表があった。

また、休憩を挟んで、医療法人社団KNI理事長の北原茂実氏が「この国を崩壊から救うために～（株）北原脳神経外科病院の挑戦～」と題して講演した。また、神奈川県が進めているEHR、

PHR事業について、黒岩祐治知事が紹介。さらに、慶應義塾大学湘南キャンパスの森川富昭氏が、そのデータベースや運用の仕組みを解説した。このほか、認知症対策の重要性が高まっている現状を踏まえ、国立精神・神経医療研究センターの伊藤弘人氏が「次期医療計画と精神疾患・認知症・情報共有・地域連携」と題して講演した。

この後、総合討論会が設けられた。会場内の約150人の参加者からも質問を受け付け活発な議論が行われるなど、最後まで盛り上がりを見せて閉会した。



黒岩祐治 知事

.....  
問い合わせ先

どこでもMYカルテ研究会  
事務局  
E-mail dokodemomyrecord@gmail.com